

**日本比較文化学会関東支部**  
**第30回学術研究発表例会 発表論題**

場所：創価大学国際交流センター 2階 208教室

日時：2011年12月17日（土）午後2時～午後5時50分

開会の辞（主催者）      野口周一支部長（湘北短期大学）      2：00～2：05

※講演、研究発表とも持ち時間は（発表20分、質疑応答10分）とする。

**研究発表**

1. 「中国話話者による書き言葉における日本語の受身形の使用状況

—構文上及び意味上の特徴に注目して—

曹 娜（東京学芸大学大学院）      2：05～2：35

2. 「台湾高校歴史教科書に見る日本—2006年版教科書を中心に—」

薛 格芳（明星大学大学院）      2：35～3：05

3. 「村落独裁の実態—ポスト9・30研究序説—」

林 英一（慶應義塾大学大学院）      3：05～3：35

4. 「浄土変相図に描かれる迦陵頻伽の考察—敦煌壁画を中心に—」

王 媛（一橋大学大学院）      3：35～4：05

4：05～（ 休息 ）～4：15

5. 「短大生の言語観の実態に関する一考察」

水島孝司（南九州短期大学）      4：15～4：45

6. 「日本人大学生の書く英語の問題点—日本の英語教育の視点から」

前田 浩（新島学園短期大学）      4：45～5：15

**講演**      「日仏の異文化の中で」

藤井 香（創価大学フランス語担当非常勤講師）      5：15～5：45

閉会の辞（会場校）      鈴井宣行（創価大学）      5：45～5：50

※終了後、公共交通期間（バス）で移動して、JR八王子駅周辺で懇親会を行いますので、是非ご参加ください。

日本比較文化学会関東支部

学術研究発表例会

会場校 鈴 井 宣 行